

## 第25回まちcomiリサーチ 『お子さまの外国語の勉強について』

ドリームエリア株式会社は、無料不審者情報配信ツール『まちcomiメール』を利用している保護者の方々を対象に、『お子さまの外国語の勉強について』のアンケートを実施いたしました。

### <調査概要>

調査期間	2009年11月27日(金)～2009年11月29日(日)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	『まちcomiメール』を利用した不審者情報を携帯で受信している保護者
調査対象数	363,978名(2009年11月27日現在)
有効回答数	19,391件

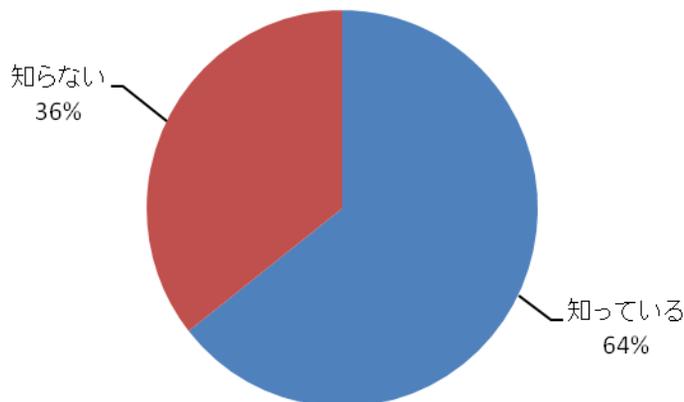
### <質問項目>

1	小学5・6年生から英語授業が必須になるのは知っていますか？
2	どのような英語の授業が行われているか知っていますか？
3	英語が必須になる事をどう思いますか？
4	将来お子さまには何語を習得して欲しいですか？
5	英語が必須になることについて、あなたのご意見をお書きください。(自由回答)
6	あなたの性別をお答えください。
7	あなたの年齢をお答えください
8	お住まいの地域をお答えください

## 質問1: 小学5・6年生から英語授業が必須になるのは知っていますか？

—約65%弱の方が知っているという回答。

Q1. 小学5・6年生から英語授業が必須になるのは知っていますか？

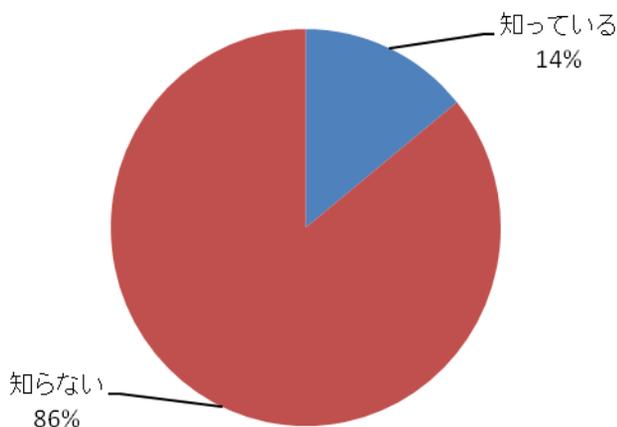


2011年から小学校5・6年生を対象に必須科目に追加されることになった英語教育についてアンケートを実施したところ、約12,500人(回答者全体の約65%弱)の保護者が必須科目になることを知っているという回答。ただし必須科目になることについての不安も大きいようでした。

## 質問2: どのような英語の授業が行われているか知っていますか？

—質問1とは対照的に8割以上の方が「知らない」と回答。

Q2. どのような英語の授業が行われているか知っていますか？

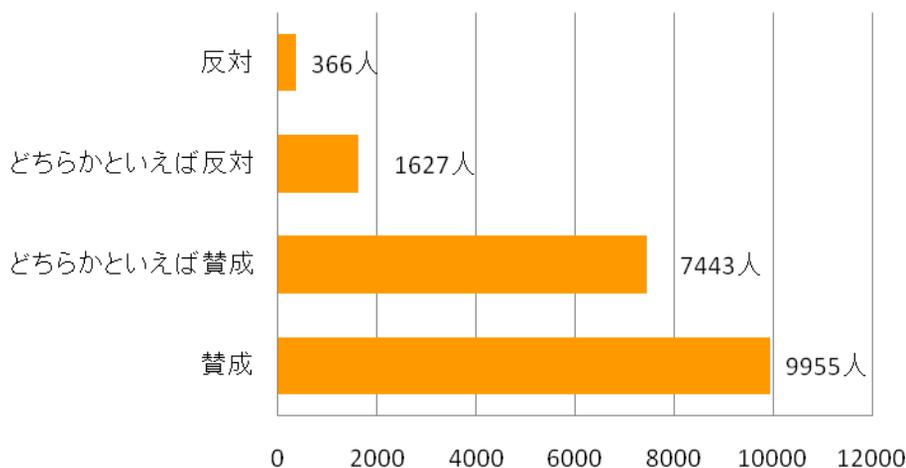


英語教育が必須になることについて、その授業内容について知っている方は、全体の14.0%、英語が必須になることを知っている方の中でも22.4%と非常に少ない結果となりました。質問5の自由回答でも「実際の学習内容が分からないことが英語教育の必須に対する不安」といった意見が多く見られました。

### 質問3:英語が必須になる事をどう思いますか？

—多くの方がお子様の勉強法に少なからず悩みを持っていると回答。

Q3.英語が必須になる事をどう思いますか？

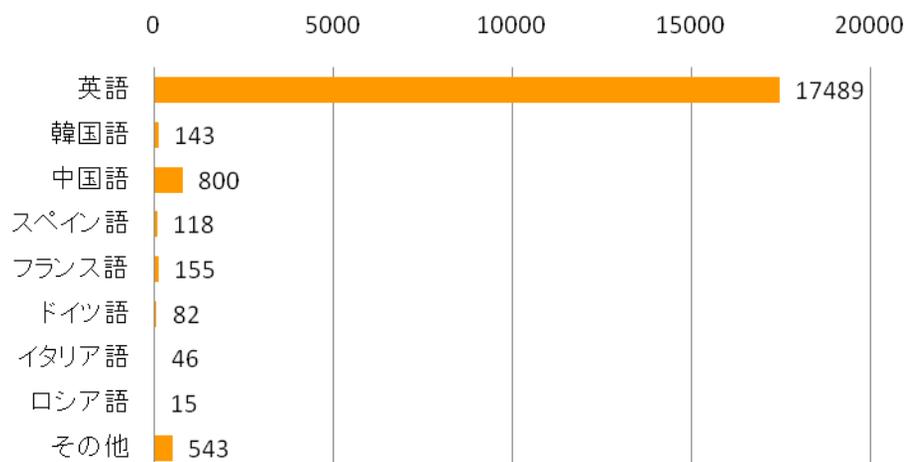


英語教育が必須になることについての賛否については、約90%弱の方が賛成という回答でした。授業内容については不安の声も多々ありましたが、質問5の自由回答でも「これからの国際社会に生きて行く子どものことを考えると英語の必要性を強く感じる」という意見が多く見られました。

### 質問4:将来お子さまには何語を習得して欲しいですか？

—大多数の方が「家庭学習が必要」と回答

Q4.将来お子さまには何語を習得して欲しいですか？



お子様に学ばせたい言語については、やはり英語は現在の世界共通語ということで、約90%以上の方が英語を学ばせたいと考えていることが分かりました。近年、北京オリンピックの影響もあり急成長を遂げている中国への関心も高いようで「今後の関わりを考えると中国語も必要だ」という意見から、英語の次に学ばせたい言語は中国語という結果が得られました。

## 質問5:英語が必須になることについて、あなたのご意見をお書きください。(自由回答)

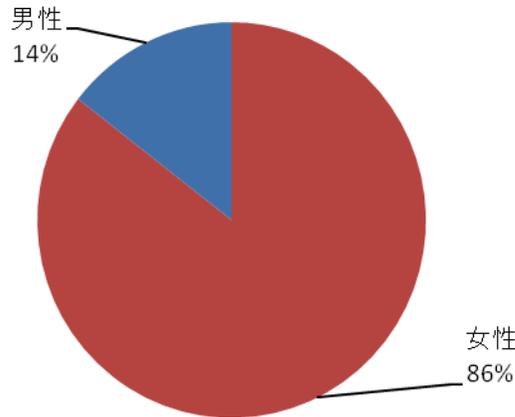
自由回答ということで、様々なご意見をお寄せいただきました。以下、一部抜粋したものをご紹介いたします。

- ・他の外国語の基礎になると思いますので 幼少時代から外国の 音楽や 文化に触れる環境をつくるべきだと思います。日本の今までの英語学習は 文法などから やるため 苦手になってしまう人も 多いのではないのでしょうか！
- ・必須にするなら全国一斉に始めて欲しい。都道府県などでバラつくのは不公平だと思う。
- ・「誰が」指導するのが問題だと思います。現況の担任等が「形だけの英語」を教えるのであれば、必要ないと思います。その時間で国語でもやった方が子どもの力になると思います。
- ・早く始めることにより、文法より会話が自然に身につくようになればいいと思います。
- ・5・6年生からはじめても今までと何らかわりがない気がします。それよりも現在の授業科目の充実をはかるべきであると思います。
- ・ALTの授業で英語を身近に感じる機会があるのは良いと思うが、小学校から必須授業として始める必要はないと思う。日本語でのコミュニケーション能力も乏しいのに学習時期を早めるのは無意味。英語力強化、会話力強化を狙うなら時期ではなく内容を検討すべき。大人でも正しい日本語を使えない人が増えている時勢に安直すぎる考え。
- ・あくまで言語はコミュニケーション・ツール。自分が相手に伝えたい気持ちが大事。日本語でもコミュニケーション取れないのに中学校から大学まで学習しても喋れないのに、と考えてしまう。こういう不安を払拭する成果を期待したい。
- ・アメリカでは、中国語を習うのが、流行りらしいが、日本も中国語を、少しはやったほうがいいのでは？
- ・お隣の市が早くから英語教育に力を入れ、中学一年生の段階でかなり差があることは聞いていたので、地域格差をなくすためには必要性も感じる反面、本来中学に入ってからしっかり学べる科目をなぜ小学校からやらなきゃいけないのかという経緯やその必要性について、今ひとつよくわからないので、あらゆる面で子どもや教師の負担がなければいいと懸念しています。
- ・きちんとした日本語が使える事が前提だと思います 国語の時間が少なくなり 英語が必修になるなら反対です
- ・遅すぎると思う。すでにかかなりの児童が英語を習っている事からみても皆6年からは遅いと思っているのでは？ 幼児期からネイティブな英語を聞き慣れていればヒアリングに苦勞する事も少なくなると思う。英語は必要不可欠なものとして日本語と同じように自然に身に付くのが理想。文法ありきでは会話の楽しさも知らぬまま英語嫌いの子供が増えるばかりだと思う
- ・読み書き中心の昭和から続く伝統的な文法教育のよさを残しながらも、話し書き中心の、実践的で「普段使いたくなる表現」をたくさんもりこんだ授業を考案して欲しいです
- ・中途半端な授業(教師の質、時間数など)をやるなら、英語はなくてよいと思う。
- ・中学生になって教科が増えるギャップが子供には受け入れ難いと思うので、先行して英語を学ぶことは必要なことだと思います。小学生のうちには正しい英語を素直に発音できるけど、思春期にさしかかる中学生は正しく発音することが恥ずかしく、格好悪いと思いがちです。もっと早期に取り組むべきであったと思います。
- ・遅れてると思います。グローバル的にはもっと早くから取り組むべきだと思います。先進国日本ですが、言葉が障害となってまだまだ活躍の場が限られてる気がします…
- ・他の教科が増えています。その様な時間的密度的な事を考えなければ、机上の学習にならない様な カードや歌のゲームや楽しい基礎を踏まえた学習なら 無理なく英語学習へも入っていけるかな、と思う。
- ・早く始めたほうが良いと思うので良いと思いますが、英語が入る分他の教科が手抜きにならないようにしてほしいです。
- ・先生に余裕がある中で取り入れてもらいたい。試験のためではなく、文化や歴史を共に学びつつ豊かな人格形成のための一つとして。また、早くからネイティブの発音になれるため。
- ・先進国で自国語以外の言葉を話せないのは日本だけ…と切り切りたいほど遅れていると思います。上の子は高校でホームステイ、大学で留学しても英会話がやっとなビジネス英語などは他の国々の方々について行くのがやっとな、習得が非常に困難。ですから英語を小学生から学習していくのはとても賛成です。日本人の子ども達が日本の文化を沢山勉強して、日本と各国々を行き来することの垣根がもっと低くなる公立学校の外国語学習を期待したいです。

## 質問6:あなたの性別をお答えください

回答をいただいたまちcomiユーザーの方の性別をお伺いしたところ、過去のまちcomiリサーチ同様、男性よりも圧倒的に女性が多い結果となりました。

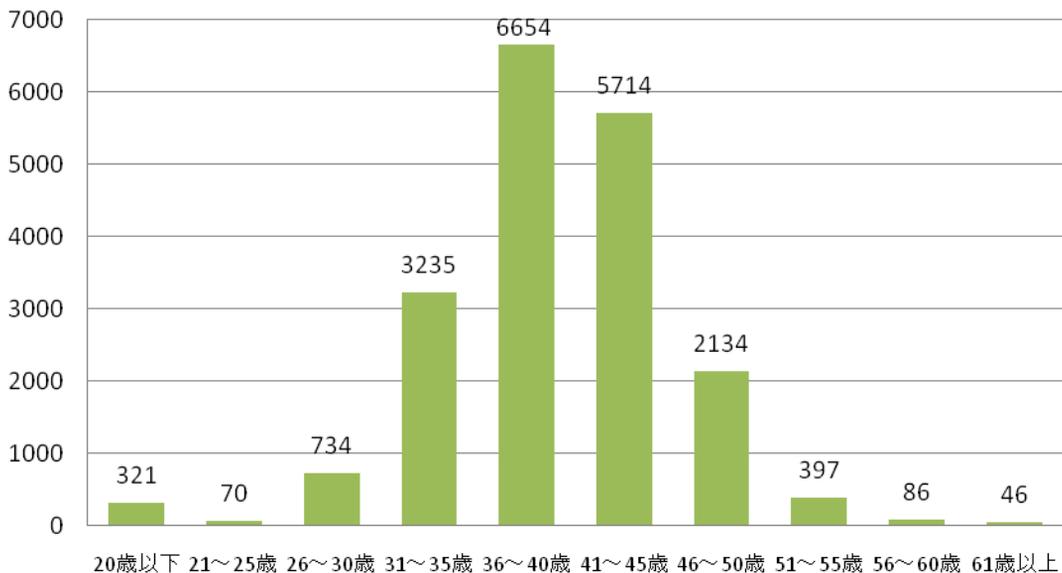
Q6.あなたの性別をお答えください。



## 質問7:あなたの年齢を教えてください

30代後半～40代前半で、全体の63%強(12,268名)を占める結果となりました。

Q7.あなたの年齢をお答えください。



## 質問8:お住まいの地域をお答えください

お住まいの地域をお伺いしたところ、まちcomi導入校の多い神奈川・千葉が多数を占める結果でした。

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	177	新潟県	43	奈良県	13	熊本県	31
青森県	57	富山県	14	和歌山県	1	大分県	0
岩手県	284	石川県	51	鳥取県	170	宮崎県	196
宮城県	522	福井県	13	島根県	0	鹿児島県	80
秋田県	18	山梨県	77	岡山県	0	沖縄県	66
山形県	21	長野県	15	広島県	170		
福島県	135	岐阜県	142	山口県	95		
茨城県	468	静岡県	1052	徳島県	131		
栃木県	24	愛知県	1054	香川県	90		
群馬県	4	三重県	1129	愛媛県	287		
埼玉県	875	滋賀県	290	高知県	0		
千葉県	3760	京都府	104	福岡県	202		
東京都	962	大阪府	798	佐賀県	415		
神奈川県	5099	兵庫県	241	長崎県	15		

## ～まちcomiリサーチ:寄付金報告～

まちcomiリサーチでは【回答いただいた人数×1円】を各ボランティア団体やNPO法人へ寄付させていただいております。今回の皆様のご協力による寄付額と、現在までの合計額をご報告させていただきます。

■今回の寄付額: 19,391円

■今回までの合計額: 332,936円

◆今までに寄付をさせていただいた施設

- ・児童虐待防止全国ネットワーク オレンジリボン
- ・NPO法人チャイルドライン支援センター
- ・国際援助団体(NGO)「セーブ・ザ・チルドレン」